1月は 市（県）民税 第4期分 の納期です
31日までに市金庫（市役所 市中銀行） または市外の取扱銀行へ

広報あしや

昭和39年 1月5日 第170号
毎月1回5日発行、全世帯配布
昭和29年1月25日 第3種郵便物認可

発行所
兵庫県芦屋市精道町93
芦屋市役所
発行人 芦屋市長 内海清
編集 秘書課広報係
印刷所 オール出版印刷KK
（定価 2円）

本市の推計人口
（12月1日現在）

総数	61,260
男	30,226
女	31,034
世帯数	15,350

朝空をあかねに染めて初陽いま芦屋の街にのぼりきらめく

中田信三郎

第九回定例市議会

昭和三十八年最後の第九回定例市議会は、さる十二月十二日から二十五日まで開かれました。結果はつぎのとおりです。

▽第一日（十二月十二日）△

民生常任委員長報告（了承）請願第3号「打出浜地区集会所の建設に関して」は、採択。「し尿汲み取りのチケット制に関する調査」は、報告どおり了承。

文教常任委員長報告（了承）「山手中学校の施設充実に関する陳情」「岩園小学校の施設充実に関する陳情」「山手中学校の施設充実に関する陳情」は、採択的取扱い。

報告第8号「専決処分報告」（承認）市民会館建設事業費として、千万円を借りるもの。

報告第9号「専決処分報告」（承認）北部土地区画整理事業の経費として、三千万円を借りるもの。

報告第10号「専決処分報告」（承認）病院整備の経費として、四千万円を借りるもの。

第107号議案「昭和三十七年度芦屋市各会計決算の認定について」（決算特委付託）決算特別委員会のメンバーはつぎのとおり。

委員長＝加藤信之介、副委員長＝小田浅治郎、委員＝藤本忠重、小田護、下川満、小谷保之、山本栄二、阪本伊地雄、極楽地勝彦、尾崎圭之助

水道料金改正案を修正可決

昭和37年度決算は特別委に付託

報告第11号「議会の指定した事業の経営状況の報告について」（報告）病院事業。

第108号議案「工事請負契約の締結について」第109号議案「工事請負契約の締結について」第110号議案「工事請負契約の締結について」（いずれも可決）北部土地区画整理事業の街路築造工事を行なうについて、千四百二十二万円で株式会社中西工務店、千二百三十六万円で中田建設株式会社、七百三十万円で相互建設工業株式会社とそれぞれ工事請負契約を結ぶもの。第111号議案～第116号議案「一般会計、水道会計、特別会計の追加予算」（可決）いずれも職員の期末手当の追加。

「市立幼稚園の新設に関する陳情」（文教委付託）宮川地区を中心として、精道・岩園両地区をも収容できる場所に一園新設を要望するもの。

「市立図書館に関する要請」（文教委付託）市立図書館の敷地または隣接地に幼稚園をつくることになれば、図書館の性格から好ましくないので、他の場所へつくるように要望するもの。

▽第二日（十二月二十日）△

第117号議案「財産の取得について」（可決）大原町八十九番地の一の土地、五・三平方メートルを宮川線拡張工事道路敷地として買収。

第118号議案「財産の取得について」（可決）打出楠町八十七番地の二の土地、三〇一・三三平方メートルを財団法人兵庫県住宅協会から市道敷地として寄付する旨の申し出があったので、受納するもの。

第119号議案「財産区有財産の処分について」第120号議案「特別会計の設置について」第121号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計三条財産区歳入歳出予算」第122号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計津知財産区歳入歳出予算」（いずれも可決）三条、津知財産区有財産の土地、一二五九・五一平方メートルを坪当たり二百五十円で本庄えん堤工事用敷地として建設省に売却し、それに伴い特別会計を設置し、予算化するもの。

第123号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市歳入歳出追加更正予算（第6号）」第124号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計下水道事業費歳入歳出追加更正予算（第3号）」第125号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計市立芦屋病院費歳入歳出追加更正予算（第3号）」第126号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計国民健康保険費歳入歳出更正予算（第4号）」第127号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計物品調達費歳入歳出追加予算（第1号）」（いずれも可決）山手小学校理科教室改修工事、岩園小学校放送室新設工事、小・中学校蛍光灯設備工事、霊地造成工事、インフルエンザ・ポリオ接種、病院レントゲン棟取りこわし工事など。

「市立幼稚園の新設に関する陳情」（文教委付託）

▽第三日（十二月二十五日）△

「市立図書館に関する要請」の撤回を承認。

文教常任委員長報告（了承）「市立幼稚園の新設に関する陳情」二件を、採択的取り扱い。

建設常任委員長報告（了承）第98号議案「芦屋市水道事業給水条例の制定について」第99号議案「昭和三十八年度芦屋市水道事業会計追加予算（第3号）」は、いずれも修正可決。請願第4号「水道料金の値上げ反対に関して」請願第5号「水道料金の値上げ反対に関して」は、いずれも不採択。「水道料金の値上げ反対に関する陳情」は、不採択的取り扱い。これら水道料金の値上げ案などについては所管の建設常任委員会において審査のため、十五回の会議を開催。

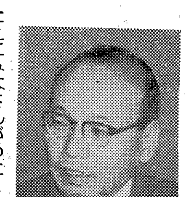
（第二面に関係記事）

第128号議案「財産の処分について」（総務委付託）打出翠ケ丘町六十一番地の十八の土地、八・一九平方メートルを、使用の必要がなくなったので処分。

〝6万市民とともに〟

養老院、青少年センター実現へ

芦屋市長 内海清



芦屋市民のみなさん、明けましておめでとうございます。お元気に新しい年をお迎えになられたことと、心からお喜び申しあげます。

芦屋市が、六万市民の惜しまぬご協力をバックに、年々〝国際文化住宅都市〟としての名実をかね備えつつありますことは、まことにご同慶にたえません。昨年もまた市立芦屋病院本館が完成し、近代的な医療設備を増強した同院は、小児科・産婦人科を加えて総合病院に飛躍しました。

他方、多数市民が待ち望んでおられた「市民の心をよせ合う場」市民会館の工事も、一部を残してあらかた完了し、昨年末より集会や講習などの会場として早くもご利用願っております。下水道事業、北部土地区画整理事業をはじめ、各般の施策、施設等も順調に進展しております。

それらの諸事業はいずれも政府各省の多大の援助を得て実施しましたもので、それだけ市民各位のご負担を少なくでき得たことはわたくしもうれしく存じております。半面、こうした市勢の伸長は、ひとえにみなさんがわたくしたちによせられるご信頼とご後援のたまもので、心から感謝申しあげている次第でございます。

さて、本年は将来にわたって本市発展の主柱となるべき、山地開発と海浜埋め立ての大事業が、すでに企画の段階を過ぎ、具体的な実施計画樹立に入っております。遠からずみなさんの前にその全容を逐次明らかにできることと存じます。

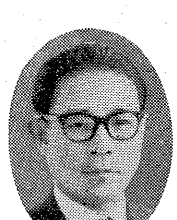
さらに、本昭和三十九年には、社会福祉施設と青少年育成事業を強く前進させるため、「養老院」と「青少年センター」の設置を実現させるべく心に期しております。

わたくしは、かねての念願であります理想都市〝芦屋〟国際都市〝芦屋〟建設をめざし、ことしも勇をこして粉骨砕身いたす所存でございます。市民のみなさんにおかれましても、あらゆる面でご叱正ごべんたつ賜わり、本市が正しい進路を直進して彼岸に到達できますよう、なおいっそうのご協力をお願い申しあげます。

年頭にあたり、六万全市民みなさんのご多幸とご健勝を心から祈念するとともに、所懐の一端をのべ新年のごあいさつといたします。

市長選挙の年を迎えて

芦屋市議会議長 久堀幸雄



市民のみなさま、明けましておめでとうございます。本年もご多幸な年でありますようにお祈りいたします。

わたくしどもの芦屋市は、十六平方キロメートル（約一里四方）の市域の三分の一ほどの市街地に、六万の人口が住んでいるささやかな都市ですが、一般会計で十三億の予算を組み、しかもその三分の二が税収入でまかなわれるという、全国的にも珍らしい、やりやすい、恵まれた市政の状態にありますことは、まことにご同慶の至りです。

六甲の緑の山なみが、ちぬの海に映える芦屋の里は、気候温暖、人心穏和で、古くからさしたるいさかいもなく、近くは天下の住宅都市として、平和な存在を誇り高く保ってまいりました。全市民のみなさまが、郷土のこのすがたに限りない愛着の念を抱いていらっしゃることと確信いたします。

この芦屋において、ことしは市長選挙が行なわれます。そしてすでに、かってないはげしい前ぶれの気配が感じられます。選挙そのものは、公明であればそれでよいと考えますが、長い期間にわたって、多数の市民の方々の選挙に関係あるいとなみが、この小さな都市の各界各層にわたって埋めがたい溝をつくり、ぬぐい難いしこりを残すようなことになれば、わたくしたちのまちの平和なすがたは、その時にうち砕かれ、長い将来にわたって悔やまされることになりましょう。わたくしは、市議会議長の立場としてこのような推移をたどることを最もおそれています。東京都や、また近くは西宮市の先例は、大きな教訓をのこしています。市長職につく人にとって、真の愛市観念がいかに必要であるかは申すまでもありません。

まことに市を愛する心からは、市の平穏が大きく破られるような行為はみちびき出せないと信じます。当事者の方々の深い配慮をお願いするゆえんです。

六万市民のみなさま、あなたの良識が芦屋の平和をまもりぬく決定的なはたらきをします。まさにそのために全市民の力を結集すべき年です。冷静な判断、自重した行動によって、「良識ある芦屋」の誇りを永久に維持していただきたいと訴えます。

はつ日の栄光に輝く郷土芦屋とその市民各位に、心からなる敬愛の情を表します。

ことし取りあげる重点は

国の政策に呼応して 人づくり、老人福祉

この数年来、政府でも大いに力を入れつつある政策に「人づくり」と「老人福祉」があります。池田総理の提唱する「人づくり」を具現するには、将来、国のにない手になる若き世代を、しんのしっかりした日本人に育てるため彼らの心身鍛錬の場を提供することが先決条件になってきます。

またわが国では「家庭」の観念が戦前とかなり変化し、とかく老人が生活しにくい社会になってきましたから、ご老人に居心地のよい環境を整えてあげることも、社会保障、社会福祉の精神から重要な宿題です。

芦屋市には、従来から継続して行なわれている下水道整備や北部土地区画整理事業に加えて、市の基本政策となる山地開発、海岸埋め立てという重大事業も抱えているわけですが、新しく迎えた昭和三十九年には、前述した国の政策に呼応して、人づくりの一環となる幼稚園の増設や青少年センターの建設、社会福祉施策の一つとして養老院の新設をぜひ実現させようと、いま着々と構想をねっています。

狭き門の解消へ 幼稚園を一園新設

芦屋市は、もともと人間形成の基礎となる幼児教育に重点を置き、早くから市立幼稚園の全部を小学校から離れた園舎として独立させついで二年保育を始めるなど、設備、教育内容とも他市に例を見ないほどの充実ぶりを誇ってきました。ところが幼児教育の重要性が本市の父兄にはいち早く浸透した結果、入園希望の幼児は年ごとにふえ、保育室の増築も追いつかず、昨年は一部で二年保育希望者を抽せんで入園させるほどの勢いになってきました。

ことしはさらに昨年を上まわる様子が見られ、各園PTAや、新入園希望の父兄からも再々幼稚園施設の増設拡充の嘆願書がよせられている情勢です。そこで、本年は幼児教育重視の見地から、幼稚園を一園増設することに踏み切り、市議会にもはかり、いま建設計画を具体的に検討しております。

予定地は希望の多い市の東部地区に物色中で、近い将来この新幼稚園が完成すると、幼児のせまき門はほぼ解消できるはずです。

青少年センターは だれが、いつきても楽しい施設に

幼児教育にもましてやかましく世間で論議されているのが青少年問題です。「青少年犯罪が多い」「野放しになっている青少年の対策を根本的に考え直す時期だ」等々のこうした世論に応じて政府でもこの問題に本腰を入れ始めたようです。芦屋市では内海市長が早くからこの点に着眼し、日本の代表として二度まで青少年対策の視察に外遊、その収穫を市政の中へ大幅に取り入れ逐次成果をあげてきています。ことし開設をくわだてている「青少年センター」もそのひとつで、成功を収めている西独の青少年対策の中から学んだものを芦屋でも実現させる構想です。

西ドイツでは、戦後、学校以外の教育施設として、全国各地に多数の「青年の家」「扉のない家」が設けられ、二十五歳以下の青少年なら、だれでも、いつでも自由にきて、そこにあるピアノや図書室、工作室、暗室、運動用具などをグループで、個人で思うまま使って、余暇を健全に過ごせるようにしています。こうした施設によって青少年が横道にそれるのを防ぐ一方、みずから情操や技術を学び、よい仲間との交際で自分らを高めているわけで、西独にならって日本でもこの種の施設がぼつぼつできはじめました。

本市で考えられているのも、だれ彼なしに自由にきて、無料で楽しめる設備ですが、中でも学校から帰っても両親が働いていていないいわゆる昼間孤児や、友だちに恵まれない子、それに住みこみなどで働いている勤労青少年といった個人個人と、各種できている青少年の団体やグループなどをおもな利用対象と考え、そうした人たちがいつきても楽しく有意義な時間が過ごせるよう、いろんな設備のあるへやを設けたい方針です。

この施設の予算が、新年度どの程度組込まれるかきまっていませんが、構想によると、場所はこの春山手に移転する市立高校の仮校舎跡（川西町）を候補地にあげ、実現すれば、そこに音楽・美術・工作・読書・談話・展示・会議など青少年が自由に使えるへやをととのえる考えです。

ここにも幼児のしあわせが（保育所の年末なかよしパーティ）

山手に 50人収容の養老院

市内にはたくさんの老人がお住まいです。比較的所得の高い人が多い芦屋にも、環境に恵まれず寂しい余生を送っておられる老人も中にはいられるわけです。そういう人たちを収容して、国や公共団体の費用で心おきなく安穏な余生を送ってもらおうというのが公立の養老院ですが、いままで本市にはその施設がなかったため、雨露をしのぐ家もない人だけ市外の養老施設に行ってもらっていました。それ以外にも頼るべき身よりはなく、生活保護を受けてほそぼそとしている人がかなりおられます。たちがたい芦屋への愛着からよその施設へ収容されるのはご免だという老人も含めて。

そうした実情から、芦屋にも養老院がぜひ必要だという市民の声にこたえて、市福祉事務所では昨年来養老院建設の構想をいろいろと検討中です。

折も折、昨年七月〝多年社会の進展に寄与してきた老人の福祉を図る〟目的で「老人福祉法」が制定され、その中に養護老人ホームの規定も明確に設けられました。本市が設けようとする養老院もこの法に基くもので、建設費も基準額の四分の三は国・県負担となり、残りを市の費用でまかなうことになります。敷地は確定していませんが、どの辺かは別として山手方面に落ちつく模様で、それがきまれば五十人収容の養老院建物の設計に着手する手はずです。

市民かるた大会

とき…一月十二日（日）午後一時
ところ…市民会館（業平町）
参和資格…市民、市内在勤者
申しこみ…当日までに参加費百円をそえて、業平町七四　市立公民館（電話②五二三六）へ
多数ご参加ください。（芦屋かるた同好会主催、市立公民館後援）

第6回 市民囲碁大会

とき	1月19日（日）午前10時から（受付開始は9時）
ところ	市民会館（業平町74）
申込	参加費 300円をそえて17日までに市立公館民へ。申込書は当館に用意
競技	A組…2段以上、B組…初段、C組…1～5級、D組…6～12級
講話	十段橋本宇太郎先生

賞多数。参加は市民および市内在勤者に限ります。お問い合わせは市立公民館（業平町74電話②5236または4995）へ。

主催　芦屋囲碁協会
後援　市立公民館

いただけぬ日本一 心がけよう、町の美観

新年早々恐縮ですが、みんなが困っているものに道路上の犬のふん、ごみがあります。芦屋市は日本一飼犬の多いところで、したがって道路にも、公園にも、よその玄関先にも遠慮なく置き去りにされる排せつ物の率も日本一ということになりそうです。

県の飼い犬条例第二条には「飼い主は、犬が街路もしくは公園その他公衆の集合する場所をよごし、（中略）他人に迷惑をかけることがないようにつとめなければならない」とあります。このように脱ぶんの責任は犬にあるのでなく、飼い主にあるのが明らかなのですが、責任を果たす人はごくわずかです。犬を散歩させるとき、紙やスコップを用意して、自分の愛犬のふんはきれいにしまつして持ち帰り①庭に埋める②焼却する③よく包んでペールかんに入れる④ふんだけを便壷に捨てる、などの処置をしていただけたらどんなに町町がきれいなることでしょう。

衛生上からも、美観のうえからも困るもう一つは、道路や川に捨てられるごみです。心ない一部の市民が紙くず、たばこの吸いがら、その他の不用物を平気で捨てているのは、自分の顔に泥をぬって平気でいるのと同じことです。ことに川へのごみ投棄は、水の流れを悪くし、災害発生の原因ともなります。また、ときどき見かける建築材料などの放置は交通の障害にもなっています。

むずかしいことではありません。お互いのちょっとした心がけで他人に迷惑と手数をかけず、住みよい芦屋がつくれます。バスの停留所で、毎朝それをそうじする老婦人を見受けるにつけ、新春にめたり、あえてご協力をお願いするしだいです。

上水道 一月から新料金に

家事用は最少限度の値上げ率

水道料金の改正案を含めた新給水条例は、昨年の第七回定例市議会に提案されて以来、建設委員会で十数回にのぼる慎重な審議の結果、十二月二十五日、第九回定例市議会最終本会議において、一部を修正のうえ可決されました。

付託をうけた建設委員会では、物価問題が世論を激しく動かしているおりから、また改正案に対する反対の請願や陳情もあって、あらゆる面から詳細に検討しました。その結果、自治省や厚生省の見解もじゅうぶんにただしたうえ、原案に一部修正を加えた修正案を作り、これを本会議にはかって賛成多数で決定したわけです。改正の要旨は、現行の用途別料金制度による料金体系はそのままとし、家事用と共同家事用は、低所得者への影響をできるだけ少なくするため、基本料金の値上げ率を思いきって低くし、公衆浴場用も浴場利用者が他都市にくらべて少ないことを考慮して低廉になっています。負担能力の考えられる散水用、娯楽用栓は原案のままで修正を加えています。

阪神水道組合の受水料が五七・五%も大幅に値上げされたうえ、本市の施設拡張工事で起債償還額が増大してきたので、三四・九%の料金値上げが必要であったにもかかわらず、三一・六%に修正されたわけは、特に一般会計から水道会計へ千六百五十万円を長期貸付することがきまったからです。この貸付は昭和四十年から四十二年まで毎年度五百五十万円ずつ行なわれます。

なお、今回、あまりにも低廉であった、給水装置工事の設計手数料や検査手数料が他市なみに引き上げられました。

この新料金は一月下旬に集金を始める分から適用されます。今後市としては、公共料金の値上げ抑制が叫ばれている時期でもあり、細心の注意で水道事業を経営し、徹底的な合理化と需要増への対策につとめる方針です。

水道の新料金表

種別	基本料金（1カ月につき） 水量	基本料金（1カ月につき） 料金	超過料金（1m³につき）
	m³まで	円	円
1種 家事用	10	165	25
2種 官公署用	20	330	26
3種 公衆浴場用	200	2,200	15
4種 散水用	10	300	38
5種 娯楽用	5	610	92
共同家事用（1戸当たり）	5	70	16

北部土地画整理事業快ペース 朝日ヶ丘線道路も着工

北部土地区画整理事業は、昨年度からとりかかっている第三工区（芦屋病院南側）と今年度から着工の第四工区（市霊園西南部）の工事を五カ所で行なっています。また、山ろく線道路の西端から岩園小学校付近へ通ずる幹線道路朝日ケ丘線築造工事も着手し、今年度は甲南学園前から百十㍍築造します。

工事のため、いろいろご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。この工事についてのお問い合わせなどは、市都市計画課区画整理係へご連絡ください。

事務補助員を募集

芦屋市役所では、本庁および市内各学校に勤務する事務補助員を募集しています。

募集人員…若干名（男、女）
応募資格…昭和三十九年三月中学校卒業予定者で、定時制高校へ進学する人
申込…一月八日までに、西宮職業安定所または市役所人事課へ
試験日…一月九日（木）

晴れの藍綬褒章受章

わたしは運がよかった よろこびの井田建次郎市議

昨年の十一月二十六日、県下で三名の藍綬褒章受章者があった。その一人が芦屋市議会最古参の井田建次郎議員である。このたびの受章は十二月十二日に五十九歳の誕生日を迎えられた氏にとってこの上ない贈りものとなった。そのよろこびをいきいきとした表情で「家内といっしょに上京したんです。感激しましたね。宮中北の間で陛下のおことばを賜わりましてね…。ともかくわたしは運がよかったですよ」

現在、市議会の重鎮で、昨年五月まで議長を勤められた同氏は昭和十二年村会議員としてはじめて出馬、当選したのが議会人としてのはじめで、今日まで七期、通算二十七年という古い経歴の持主。家柄も四百五十年続いている生えぬきの芦屋人である。

「精道は富裕な村でした。人口が約四万人、当時、全国で最も大きい村じゃなかったでしょうか。そのころの大きな出来事といえば、やはり村営上水道の完成と、阪神大水害です」

やがて、昭和十五年十一月十日市制施行。これを追って町名改正。二百余の〝字〟を四十三町に整理する町名改正では、最もやりとりの激しい議会になり、苦労した問題だったと、当時その委員長だった氏はしみじみ述懐する。

日増しに激しさを加えた戦火には、例外なく芦屋市も大きな痛手をこうむった。それまでに氏は二度応召したが武運強く生還、召集解除後は翼賛議員としてすぐ復活した。

「終戦後の芦屋市の建て直しは学校の修復から始めました。わたしはそのころ建設委員長をつとめていましたが、物資がないのには閉口しましたね」

いろいろのことがあった。議会のあり方も変わった。そういった中で、氏の労苦、功績は枚挙にいとまがない。中でも、市霊園建設事業の発端は氏の献策に負うところが多いし、芦屋庭球場設立にもずいぶん貢献された。そして、し尿くみとり作業の民営から公営への切りかえのときは、民生委員長という立場で、文字どおり不眠不休、むずかしい職責を果たされた。また昨年、議長時代には芦屋・神戸両市の行政協議会を実現。

「わたしは、五人の市長とともに議会をあゆんできたわけです。芦屋はいつも、うまくその時期に適した市長に、市政を委ねていますね。戦後、大きな企画を必要とする時期には猿丸市長、それを実現する段になると現市長といったぐあいに。でも長い目で見ると芦屋市の根本は変わっていません」

つまりそれは国際文化住宅都市、文教都市、そして霊園建設にみられる宗派をこえた神仏中心の町づくりである。これは、今後もますます推進すべきだと強調される。「将来の芦屋？芦屋は海と山以外にはのびる余地がないわけですが、山地開発などあせらずやるべきでしょうな。それに、若い市民とつながりをもつ意味から、芦屋らしいスポーツ施設が必要です。身近かな行政、芦屋らしい幅広さには、内海市長もいろいろ気を配ってくれ、結構なことだと思っています」

高山植物、とくに小さい植物の採取がお好きで、ひまさえあればいまだに山を歩きまわられる。庭に目を移すと、六甲山や出張先で寸暇をさいて採集した植物が数十種も珍を競っていた。三条南町在住。

（写真は自宅でくつろぐ井田市議）

冬将軍がやってくる

多いストーブが原因の火災、鉄管破裂

寒い毎日です。最も火災の起こりやすい季節、また水道管が凍結し、水が出なくなって大さわぎする季節です。ちょっとした注意、ちょっとした措置で事故は防止できます。そこで、最近とくにいちじるしく普及した石油ストーブの使い方と、水道管の簡単な凍結防止法をまとめてみました。

石油ストーブ　規格品を正しく使う

暮れから新年にかけて、各地に火災が発生しています。その原因の中で注目すべきことは、石油ストーブによるものが目立ってきたことです。近年の暖房に石油ストーブを使われる家庭が多くなってきたことから、ストーブからの火災も増加する傾向があります。

従来の石油ストーブは製品自体に粗雑なものが多く、また規格がありませんでしたが、三十八年からJIS（日本工業規格）により、構造などについて規格化され、安全度も高くなっています。石油ストーブによる火事のほとんどは、使用場所が不適当だったり、取り扱い方の悪かったことが原因になっていますので、芦屋市消防本部では、つぎのことについてご注意くださるよう望んでいます。

1 規格品（JIS）であること
2 点火、火力の調節、消火は正しくして、点火したときは燃焼が安定するまでそばを離れず、火力調節に注意すること。
3 火をつけたままの持ち運び、給油は絶対にしないこと。
4 つまずきやすい所や周囲の可燃物に火が移りやすい所（カーテンなどに接する所）は避け、不燃性の台の上で使用すること
5 簡単な故障でも、発見したときはすぐ修理すること。
6 そのストーブに応じた燃料を使用し、こぼれた油などは必ずふきとってから使用すること。
7 予備燃料は、安全な場所に保管すること。
8 事故が起きても、あわてずに周囲への延焼を防ぐこと。

火事はお互いの油断から

燃料　ご家庭にも届出の義務

ガソリン、白灯油、重油などは、消防法で危険物としています。これらを一定の数量以上貯蔵したり取り扱うときは、許可や届出が必要です。

消防法でいう一定数量とは指定数量のことで、ガソリンは百㍑、石油ストーブの燃料である白灯油は五百㍑、重油は二千㍑で、この数量以上を貯蔵、取り扱う場合は許可を受けなければなりません。

指定数量未満で五分の一以上の数量、つまりガソリンでは二十㍑以上百㍑未満、白灯油では百㍑以上五百㍑未満、重油では四百㍑以上二千㍑未満のときは、芦屋市火災予防条例に定める小量危険物として届け出る義務があります。みなさんのご家庭で、どくに小量危険物となる量以上の燃料を置いておもう一つご注意いただきたいことは、水道管の保護です。昨冬は、本市でも二千件ほどの事故がありました。今のところ、完全な凍結や破裂を防止する装置はありませんが、各ご家庭で裸のまま露出している管がありましたら、ワラ、ボロ布、ナワなどを分厚く巻いて保護してください。最近は、水道管保温ベルト、カランフードなども市販されています。

水道事故は、市水道部（電話②二〇九七）へご連絡ください。

お宅もぜひ防犯警報装置を

どろぼうに入られたとき、早く近所や警察に知らせることが大事です。二軒から十軒ぐらいご近所同志で、防犯ベルやサイレンを設置しておくと、非常の場合ボタンをひと押しすれば他の家庭のベルやサイレンが鳴りひびきます。さっそくだれかが一一〇番に急報し、パトカーが駈けつけるという段どりです。お隣りと一度防犯警報装置について話し合ってみてください。

お問い合わせは芦屋警察署へ。

水道管　凍らせたらおしまい

先月の市内交通事故

12月1日～25日

事故	35件
死者	0人
負傷者	20人

1月から累計　事故 630件　死者 8人　負傷 242人

日曜の当番医師

1月5日 宮代医院（内科）精道町②一四五〇▽12日 池田医院（外科）津知町②五〇九四▽15日 石川医院（外科）楠町②六〇五〇▽19日 太田医院（産婦人科）清水町②〇三〇一▽26日 平岡医院（産婦人科）南宮町②一〇六六▽2月2日 里見医院（耳鼻科）精道町②九一八一▽9日 本吉医院（内科）東芦屋町②五〇三六

当番医は、急患のために待機しているのですから、急を要しない人は一応かかりつけの医師にみてもらってください。専門科目外の患者のときは、適当な専門医に連絡してもらえます。（芦屋市医師会）

好評の心の検診

毎週火曜日に保健所で

三歳ごろは、人間の心や身体が発育の上で最もたいせつな時期です。芦屋保健所では、おかあさん方に正しい指導の方法を知っていただくために、毎週火曜日の午前九時から十一時まで満三歳児を対象に「幼児の心の検診」をしています。ご希望の方は、芦屋保健所（電話②三〇三）へお申しこみください。満三歳の誕生日に一番近い火曜日が検診の日になります。

検診は、兵庫県中央精神衛生相談所の北岡修先生と後藤先生が、精神面、心理面をそれぞれ担当されます。

精道中の特派員　下水終末ポンプ場を訪問

大雨にも平気なポンプの能力

完全浄化にあと四年

十二月十三日の放課後、わたくしたくしたち精道中学新聞部員四人は、伊勢町の下水終末ポンプ場をおたずねしました。

台所やふろ場から流される水、大便、小便、それに雨水、全部ひっくるめて「下水」というんだそうですが、芦屋ではそれをどうして処理しているのか知るのが目的です。市の下水道課の竹内・国米両係長さんがわたくしたちを案内し、説明してくださいました。

― 今まで下水はどうやって処理されてきたのですか。

係長　雨水はみぞから川へ、そして海へ流れていました。みぞから下水管を通っていく所もあります。台所やふろ、洗面所の汚水もだいたい同じです。三十七年春からこのポンプ場が動き始めたので、ここへくる管の入っている地域の雨水や汚水は、雑物や土砂を除いてポンプで海へ出しています。

― 便所から出るものは。

係長　昔はしにょうを田畑の肥料にまわしたものですが、いまは収集車がくみとってきたのを、船で大阪湾に運んですてています。浄化そうの便所で水分だけになったのは、ほかの汚水と同じ径路で海へ運ばれます。

― 下水道工事の始まりはいつ。

係長　昭和十年、精道村の時分からですが、十六年から三十一年までは戦争で中断しました。三十一年から新しい拡張計画でまたやり始めたのです。

― 下水はきれいにして海へ流さないのですか。

係長　今は完全にきれいにする設備はありません。それをこのポンプ場の脇にこれから造るのです。しにょうも今の方法だとたまって海がきたなくなり、将来は泳げなくなってしまいますからね。ここに浄化処理施設ができるに、各家庭の浄化そうはいらなくなり、水洗便所から生で送られてきても、ここできれいにして海へ流すわけです。

―それはいつ頃できるのですか。

係長　昭和四十三年ぐらいから動かし始めるつもりです。もっとも各家庭の排水設備からここまで下水管が通じることが先決ですが。阪急線から南の区域に下水管の網の目が全部整うのは昭和四十九年ごろ。欧米では下水道を先に造ってから家が建つのですが、残念ながら日本の都市は反対なんです。

―日本でそんな設備をもっている市はありますか。

係長　全国でちゃんとした下水処理場があるのは三十市ぐらいです。それも全市域の分はありません。

― どのくらい費用がかかりますか

係長　ここに処理施設を造るのに九億円、阪急から南へ下水管を入れるのに十億円はいるでしょう。

― すごいですね。それで下水道料をとるようになったのですか。

係長　上水道の料金をもらうように下水道の利益をうけている区域の市民の方から、流す水量に応じて下水道料をもらっているわけですが、せいぜい下水道の維持補修費にやっとです。でもこれを集めないと、国が補助金をじゅうぶんに出してくれなくて、満足に工事を進められないので、市もつらいところです。

―いま、進んでいる工事は。

係長　上流の枝管からくる下水を集める最大の下水幹線を東西に延ばすのと、浜手に枝管を入れる工事です。

―管の大きさは。

係長　一番大きいのはその幹線の直経一・八㍍、小さい枝管は二十五㌢ぐらいのまであります。十年先にはその総延長が約九十㌔にもなるのですよ。

―このポンプ場にはどんな設備があるのですか。

係長　外で見てもらったのが、沈砂池とスクリーンですね。導かれた下水の中の土砂をまず沈殿させ、いっしょに流れてきた雑物―布ぎれや木のかけらなどをスクリーンという鉄の格子でかき取るわけです。そうして水分と溶解物だけになった下水を屋内のポンプで海へ出すのです。きようはお天気なので動いているのは、小さい汚水用のポンプ四台のうち一台だけです。

―大きいのは雨ふり用？

係長　そうです。これも四台ありますが四台とも動かすのはよほど大雨のときだけです。何しろ一台で一分間に約百㌧の水をかい出す能力がありますからね。みなディーゼルエンジンですが、停電のときも困らぬように自家発電装置もあります。

― 何人ここにおつとめです。

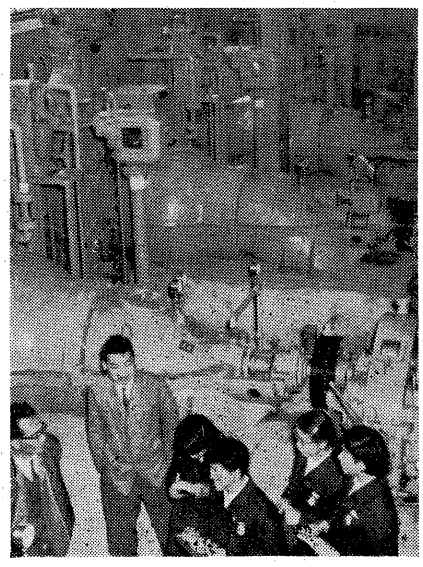
係長　七人です。交たいで昼も夜も日曜も祭日も必ず勤務しています。

― 目立たないけど、たいへんなお仕事ですね。どうもきょうはありがとうございました。何か市民のみなさんに希望されることがありましたら。

係長　わたくしたちは芦屋の下水道が一日も早く欧米なみになるようがんばっています。下水管が入った区域の方は、お家の流しと下水管を結ぶ排水設備、つまり下水の通路を完全なものにしていただきたいと思います。

帰りぎわに、下水のはき出し口をのぞかせてもらったら、小さなポンプ一台分だというのに、すごい勢いで水を海へ送っていました。

（探訪特派員…精道中新聞部の山口惠子、葛目みき、清原博子、野村洋子、いずれも二年生。補訂…市広報係）



ポンプの前でメモを取る少女記者

ちょっと拝見

「わたしたち探訪記者です」①

紫煙が造る市の施設

芦屋でたばこを買ってください

たばこを芦屋で買っていただきますと、それが直接たばこ消費税として市の重要な財源となります。芦屋市のたばこ消費税は、三十七年中でおよそ二千二百万円でしたが、たとえば、消防庁舎の建築費が約二千四百万円ほどかかっていることから、たばこ消費税がどんなにたいせつな財源となるか、おわかりいただけると思います。市民のみなさんが、今の二倍芦屋でたばこを買ってくだされば、消防庁舎級の施設が二つできる勘定です。

三十七年中に市内の小売店を通じて消費されたたばこの量は市民一人当たり千二百四十五本で、全国平均（千五百二十三本）県下平均（千四百九十六本）よりも相当低くなっています。これは、しごとやお勤めなどの関係で市外へ出られる方が多く、こうした方が自然とたばこを市外でお買いになる結果だと思われます。市内売上げが全国平均ぐらいになりますと、消費税は今までより約五百三十万円もふえ、教育、道路、保健衛生といったような、直接みなさんにつながる施設の整備に役立ちます。

ことに、昨年からは率が改正されたばこの料金は変わりませんが、市のいただく率がふえ、約二千六百万円の消費税が見込まれます。

ご出勤前に、市外へお出かけの前に、たばこはぜひ芦屋市内でお買い求めください。

ことしは、オリンピックの年です。ギリシャ葉たばこの〝オリンピアス〟を買って、オリンピックに協力しましょう。

一主婦さんありがとう

愛の定期便に異例の感謝状

「茶屋之町一主婦」のなまえで毎月欠かすことなく福祉義金をお寄せくださる方がおられます。

さる昭和三十六年二月から、すでに三カ年に及ぶ匿名の愛の定期便は、その恩恵を受ける人々はもとより、それを取り扱う芦屋市社会福祉協議会の人たちにも、明るい光と強い励みを与えました。この一主婦さんに、何とかして感謝の気持を表わさずにいられないと十二月二十一日、社会福祉協議会長から異例の陰の表彰をし、感謝状は市役所内にある社会福祉協議会に飾られています。

産業教育映画を見る会

とき　1月21日(火)午後7時―9時
ところ　芦屋市民会館
カラー・ワイド　捕鯨　ワイド・フランジ　ヘドロに建つ製鉄所
カラー・マンガ　鉄ものがたり
暖房完備・来場歓迎／主催　市立公民館

蔵末愛の持ち寄り品

さっそく福祉施設などへ

昨年十二月六日から、蔵末援護愛の持ち寄り運動を行ないましたところ、みなさんの暖かいご理解により、現金五十八万一千四百七十五円、衣料その他三千六百九十七点お寄せいただきました。

これらの心のこもった金品は、さっそく市内の恵まれない境遇の方々や福祉施設などにお贈りしました。ご協力くださいましたみなさんに厚くお礼申しあげます。

訂正とおわび

前号第四面〝教育のページ〟に掲載した「鈴木博士の遺著を受贈」の記事中、故鈴木豹軒先生が芦屋市民でただひとりの文化勲章を受けられた方と記しましたが、竹園町ご在住の電子工学の権威、岡部金治郎博士も昭和十九年文化勲章を受章されていますので、博士と読者の方々におわびし訂正します。ご注意くださいました方、ありがとうございました。

善意銀行

預託【物品口座】生活困窮者へ衣類二十六点、帽子、くつ下…南宮町、中川正義さん▽同衣類五十七点…松浜町、井伊久代さん▽同衣類一点…松ノ内町、城チサトさん▽気のどくな方へ夜着一点…三条町、岩尾よしさん▽市内施設へみかん十八㌔、りんご十七㌔、かき六㌔…私立愛光幼稚園さん▽社会福祉のためにわらぞうり六十四足…西宮市、三好弘子さん▽同りんご二箱…川西町、外島満子さん▽三田谷治療教育院へラジオ、ミシン各一台…山手町、山田愛さん▽市立保育所へオルガン一台…山芦屋町、三輪邦太郎さん▽市立上宮川会館へ図書百十三冊、書架一台…芦屋ロータリークラブさん【金銭口座】社会福祉のために一万円…楠町、長尾タカノさん▽同五百十五円…精道中学校カンカングループさん▽同一万円…船戸町一主婦さん▽老人クラブ連合会へ三千円…尼崎市、KKふじや旅行会さん▽老人福祉のために二千円…公光町、一主婦さん▽市内施設へ三千円…私立愛光幼稚園さん▽同バザー売上金三万一千四百六十五円…市立芦屋高校職員、生徒会さん▽要保護家庭の医療費に一万円…川西町、外島満子さん

払い出し【物品口座】みかん十八㌔、りんご十七㌔、かき六㌔…三田谷治療教育院へ▽ラジオ、ミシン各一台…三田谷治療教育院へ▽オルガン一台…市立打出保育所へ▽図書百十三冊、書架一台…市立上宮川会館へ▽衣料品五百四十点、その他九十五点…蔵末愛の持ち寄り運動期間中に市内要保護家庭へ「金銭口座」三千円…三田谷治療教育院へ

（11月21日～12月20日取扱い分）

市高新校舎　内部工事へ

朝日ケ丘の高台に建築中の市立芦屋高校本校舎は、旧ろう4階まで建ちあがり、仕上げ工事に入りました。新学年からここへ移転し授業を始めます。（写真手前は運動場敷地）

教育指信

精道幼
◇お母さん教室　冬の子どもの病気の予防を中心に話し合いをする。

宮川幼
◇コマまわし大会　一月二十三日　サンタおじさんにもらったコマで冬休み中おけいこしたので、その腕じまんをする。

山手幼
◇記念写真撮影　一月十三日　◇体位測定　十四日　◇おもちつき　十七日　◇市内幼稚園併研会　三十日

岩園幼
◇保護者参観日　一月十八日　◇おもちつき　二十一日　◇お誕生会　三十日

精道小
◇書写展覧会　一月二十八・二十九日

宮川小
◇展覧会　一月二十五・二十六日

岩園小
◇廉売会　一月十八・十九日　会場は講堂。ことしは子どもコーナー・食堂、それにお母さんがたの手芸品の出品などを計画し、昨年以上の成績をあげるつもり。

総選挙そのままに

山手中自治会　会長の改選

山手中学では生徒自治会の役員交代の時期を控え、十二月四日、正副会長の選挙が行なわれ、会長に久保富三夫君、副会長には大橋まり子さんが当選しました。

この選挙は、一般社会での選挙とまったく同じ形式で、九名の選挙管理委員が選挙の公示、応援、立会演説会の開催、投票、開票事務の運営などを管理しました。校内には、選挙管理委員会認定のポスターが掲示され、候補者は氏名入りのタスキをかけて、時間内、活発な選挙運動を行ないました。

一月からは、この選挙で選ばれた主脳部を中心に、新しい自治会役員の手で、生徒会が運営されることになります。

精道中でも

十二月十八日精道中学でも生徒会選挙が行なわれ、四役が決定しました。▽会長　田村哲夫君▽副会長　孝橋雅男君、能瀬千秋さん、書記　西村緑里さん、会計　青木ふみさん。

成人の日に

芦屋市教育長　**清水敬治**

新春とは言え、春なお浅く、然し、どことなく春もよいして、ほのぼのと心明るい此頃、月寒く梅白く、天地おごそかで、成人の日に好適の季節感である。

成人の日を迎えられた諸君お目出とう。ご両親の皆さんお目出とう。今日この日、諸君の胸中には、越し方の追憶と、将来の希望が渦巻いて、感慨無量であろうと思われる。まこと、諸君の成長期は、むつかしい時であった。世界発展史上それは何次めか、それともそれが逆転なのか。

それは後世の史家にゆだねるとして、音もなく崩れ去った権威のあとに、怒涛のように寄せたフアニズムス、その真只中に投出された諸君は、自我の発達のそうぞうしさに加えて、人間の再発見のあわただしさ、自己形成が未熟であるのに、自己評価を自己規準で計るという、その自由と責任、それに周囲の過剰の激励と圧迫、それらによくも耐えて、今日を迎えられたものである。だが、辛苦が人をつくることは、いつの世でもあることは子どもコーナー・食堂、それにお母さんがたの手芸品の出品などを計画し、昨年以上の成績をあげるつもり。

言葉をかえれば、衝動的感覚から精神的なものへの果ての三昧境、ヂオゲネスは「一番いいものは苦痛である」ともいったが、それはそれとして、仏教の数いの大悲、キリストの祝福―諸君はその何れを求められるか、私等はその何れを諸君に期するか。これは課題として残しておく。

話がむつかしくなった。では、重ねて諸君の成年の日を祝し、将来の発展を心から祈る。

ぜひやりたいことは？20年先の日本は？

大人になったから

はたち の人たちにアンケート

ことし晴れの成人式を迎える人が、芦屋市にも千八百人ばかりいます。その人たちは成人の日の一月十五日、精道小学校講堂で行なわれる成人式に集まりこれから成人として過ごす将来へ誓いをたて、一方多くの人々から祝福を受けるわけです。わたくしたちも祝ってあげたい、ことしはたちのその人たちはどんなことを考えているのでしょう。ちょっとおたずねして見ました。

江角たつ子（公光町、お手つだいさん）

①働く仲間のグループに参加したい。それに読書。
②家庭の中ばかりだと多くの人たちと接しにくいから。読書は、ただ「忙しい、忙しい」で月日を送らず、その合間をみつけて。
③自分のきまった時間を持てないこと。

神野　賢三（公光町、すしや店員）

①一日も早く自分の夢を完成させたい。そのため自分で今日までの成果をはっきりさせること。
②自分自身の未来のため。
③わき見せず、与えられた目的をやりとおすよう努力すること。
④考え方が進歩し、合理化されている点。
⑤ねばり強い根性。
⑥道路をひろげる。住宅難をなくす。養護施設をふやす。人種差別をしない。

福来　恵子（打出南宮町、頌栄短大）

①華道、茶道、書道、手芸、洋裁和裁を習いたい。
②適齢期が近づいたのでひとお世間万象の真実を見きわめたい。
（ウ）ひとりの人間内の善悪の交さくと、その容認の自己の限界度を知ること。（エ）すばらしい恋人を獲得すること。
②やらねば精神的に苦しいから。
③心を充実させてくれるものを作ること。みつけること。

井門忠士（伊勢町、神戸大学法学部）

①（ア）これ以上は死ぬと思うぐらい勉強に打ちこみたい。（イ）世間万象の真実を見きわめたい。
（ウ）ひとりの人間内の善悪の交さくと、その容認の自己の限界度を知ること。（エ）すばらしい恋人を獲得すること。
②やらねば精神的に苦しいから。
③心を充実させてくれるものを作ること。みつけること。

豆腐谷弘子（船戸町会社員）

①旅行、いろんな活動への参加。
②見聞を広め、知識を得、多くの人から教えられるでしょうから。
④積極的、合理的な点。
⑤忍耐強いという面。

宮崎　昭子（山芦屋町、お手つだいさん）

①あれこれ思うことはいっぱいありますが、どう書いてよいか……ともかく、今までより、もうひとつ進んだおとなの社会をあゆみ、勉強し、一つでも世の中に役立ちたいと思います。
②自分がどこに行っても恥ずかしくない人間でありたいから。
③今までおとなであって子供でしたが、成人を迎えると、自分がぐっとおとなになったように感じます。でもわたくしも仲間入りするおとなの人たちの気持ちがよくわかりません。どんなことを考えているのか、知りたいです。大きな社会を……。
④社会が大きく見るようになりました。ひとりひとりが堂々と胸をはって、中学校を出てすぐ大都会にと出ていく。
⑥〝差別なく〟みんなが平等に社会に立つように。

北村　和代（東芦屋町、甲南女子短大）

③いかに自分の時間をムダなく使えるか。
④合理的であること。
⑤格調あるマナー。
⑥不安のない明るい社会。

問

【第1問】成人式を迎えたことし、あなたはどんなことをやりたいと思いますか。
【第2問】それはなぜですか。
【第3問】あなたにとって現在一番切実な問題はなんですか。
【第4問】戦前派といわれる人たちより自分たちがすぐれていると思う点は。
【第5問】反対にその人たちから学ぶべき点は。
【第6問】二十年後の日本の社会がどうあってほしいですか。

就学通知と健康診断

学校へ上る子のご父兄へ

ことしの四月、小学校に就学されるのは、昭和三十二年四月二日から三十三年四月一日までに生れたお子さんです。市教育委員会事務局では就学通知書をお届けしています。もし一月十日を過ぎても通知書が届かないとき、また市内居住の外国人のお子さんで市立小学校に就学を希望されるときは、市教委管理課へお申し出ください。なお、就学前の健康診断を行なう日程はつぎのとおりです。。

▽精道小学校……一月二十日（月）二十七日（月）
▽宮川小学校……一月十六日（木）十七日（金）二十三日（木）
▽山手小学校……一月二十一日（火）二十八日（火）
▽岩園小学校……一月二十二日（水）二十九日（水）

どなたも二回来ていただくわけですが、一回目は健康診断、知能テスト、種痘を、二回目はジフテリヤ予防注射をします。受けつけ時間は、いずれも午後一時から二時までです。

市立　幼稚園児募集

満四歳または五歳の入園希望児を一月十六日から二十四日まで各市立幼稚園で受けつけます。土曜、日曜を除き毎日午後一時から四時までです。詳細は各園へ。

第11回　書道展

市内小・中学生の優秀作品と高校生の賛助作品を展示
1月25日―27日（前9時から後4時まで）精道小講堂で
★来場歓迎¥　主催　市教委

成人式に 参加しましょう

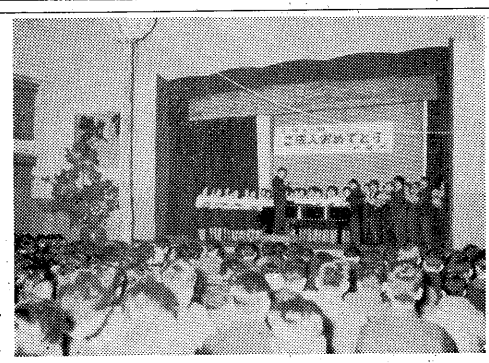
1月15日午後1時30分から 精道小学校講堂で

成人式をお迎えになる方
みなさんの希望にみちた前途を、全市をあげて祝福したいと思いますからぜひお集りください。

一般市民の方もどうぞ　新しくおとなの仲間入りした後輩たちを祝福、激励するためご来会ください。

★式の内容

第1部　式典
第2部　1）狂言「船渡婿」…甲南大能楽研究会
2）軽音楽…ブルー・ワゴン・ボーイズ
…ロッキング・ランチャーズ
3）歌唱指導



昨年の成人式風景

★記念事業

①スキーバスの会
1月15日午後3時出発
神鍋スキー場へ
翌日夜帰着

②ダンスパーティ
1月15日午後6時―9時
市民会館中ホールで

主催　芦屋市教委
市立公民館
業平町78電2―5236
4995

オリンピックの年だ。青少年は広い視野と創造性を、そして希望と勇気を

国旗を大切に
・祝日には国旗を掲げよう
・他国の国旗も尊重しよう

地域で
町を明るく美しく
・だれにでもできる「小さな親切」をみんなでやろう
・青少年補導活動に協力しよう

青少年をより強く正しく伸ばす運動
1月15日まで

主唱
芦屋市青少年問題協議会

家庭で
生活の中の習慣を考え直し、改善につとめよう
・みんなで39年の計画を
・時間の有効な使い方を
・親と子の心の交流を

小さな親切運動
・老人や幼児に席をゆずろう
・危い遊びをしている子供には注意してやろう
・道を聞かれたら親切に

職場で
新時代の産業人として
・明るい人間関係を
・余暇にうるおいを
・お互い、よい相談相手に